

# OLYMPUS®

# CAMEDIA

デジタルカメラ

## C-840L

### 取扱説明書

- ご使用前にこの説明書をお読みください。
- 大切なもの(海外旅行など)をお撮りになる前には、  
試し撮りをするをおすすめします。

▶ 準備をしましょう

▶ 撮影しましょう

▶ 液晶モニタで再生してみましょう

▶ 印刷してみましょう

▶ 画像をとりこみましょう

▶ その他

---

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。尚、本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を越えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

Windowsは米マイクロソフト社の登録商標です。MacintoshおよびAppleは米アップルコンピュータ社の登録商標です。その他全てのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

---

## 本取扱説明書をお読みになる前に

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、オリンパス指定外の第三者による修理その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

**オリンパス光学工業株式会社**

## 安全にお使いいただくために

このたびは、オリンパス デジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、以下のことは必ず守ってください。

お読みになったあとは、必ず保管してください。

### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害を被るおそれがある内容を示しています。

### 警告

1. フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光しないでください。目に近づけて撮影すると、視力に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して1 m以内の距離で撮影しないでください。
2. 日光および強い光に向けて本製品を使用しないでください。目に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。
3. 可燃性ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
4. この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生のおそれがあります。
  - ・ 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - ・ 電池や小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
  - ・ 目の前でフラッシュが発光し、視力に回復不可能な程の障害を起こす。
  - ・ カメラの動作部でけがをする。

5. 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。

- ・このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
  - ・電池をショートさせたり、加熱、分解および火の中に入れてたりしないでください。
  - ・古い電池と新しい電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混ぜて使わないでください。
  - ・充電できないアルカリ電池、リチウム電池を充電しないでください。
  - ・取り外した電池は幼児、子供の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
  - ・電池の+ - の極性を逆に入れてしないでください。
6. 湿気やほこりの多い場所にカメラを保管しないでください。火災や感電の原因となります。
7. フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また連続発光後、発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
8. 万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、速やかに電池を抜き、販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。火災や感電の原因となります。

## 注意

1. 異臭、異常音、もしくは煙が出たりするなどの異常が生じた場合は、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、最寄りの販売店もしくはオリンパスサービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。
2. 本製品の分解、改造はしないでください。感電やけがをする原因となります。
3. 長期間使用しない時は電池を取り出しておいてください。電池の発熱や液漏れになり、火災やけが、周囲が汚れる等の原因となります。
4. 電池の液漏れが起こったら使用しないでください。放っておくと、火災や感電の原因となります。販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。
5. 濡れた手で操作しないでください。感電の危険があります。
6. 異常に温度が高くなるところに置かないでください。部品が劣化したり、火災の原因となることがあります。
7. 電池を使って長時間連続使用したあとは、電池をすぐにとり出さないでください。やけどの原因となることがあります。

## お取り扱いについて

- ❖ 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で本製品を使用または保管した場合、動作不良や故障の原因となりますので絶対に避けてください。
  - ・直射日光下や夏の海岸など
  - ・高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - ・砂、ほこり、ちりの多い場所
  - ・火気のある場所
  - ・揮発性物質のある場所
  - ・冷暖房器、加湿器のそば
  - ・水に濡れやすい場所
  - ・振動のある場所
  - ・自動車の中
- ❖ カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- ❖ レンズを直射日光に向けて放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。
- ❖ 長時間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には作動点検をされることをおすすめします。
- ❖ 三脚につける場合、デジタルカメラを回して取り付けないでください。
- ❖ 本体の電気接点部には触れないでください。
- ❖ フラッシュを短時間に何度も発光させると、発光部の温度が上がることがありますので、直接手を触れないでください。

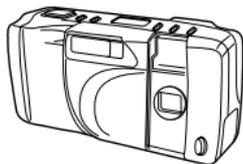
## 電池について

- ❖ 電池は単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、またはニッカド電池4本を使用します。
- ❖ 撮影条件、使用環境及び電池により撮影枚数が減少する場合があります。オリンパス製ニッケル水素電池をおすすめします(充電器セット B-30S)。繰り返し使用でき経済的です。また、低温時のご使用にも有効です。
- ❖ マンガン電池は使用できません。電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱等により本体に損害をもたらすおそれがあります。
- ❖ 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液もれ・発熱・破損の原因となります。交換するときは、+ - の向きに注意して正しく入れてください。
- ❖ 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- ❖ 電池の+ - 極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- ❖ 長期間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをお勧めします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。
- ❖ ニッケル水素電池およびニッカド電池を使用の場合は、必ず電池で指定された充電器で完全に充電してからお使いください。
- ❖ ニッケル水素電池およびニッカド電池をご使用になる際は、電池、充電器等の説明書をよく読んで、正しくお使いください。

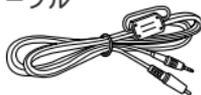
## 中身を確認しましょう

### 同梱品

カメラ本体



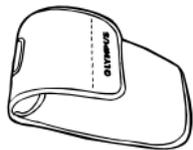
ビデオケーブル



アルカリ  
単3電池  
(4本)



カメラケース



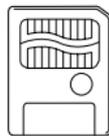
ストラップ



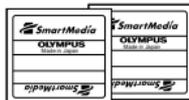
取扱説明書  
保証書  
愛用者カード



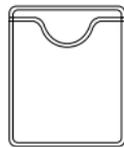
スマートメディア



スマートメディア用  
ラベル(2枚)



スマートメディア用  
静電気防止ケース



スマートメディア用ライト  
プロテクトシール(4枚)



スマートメディア  
取扱説明書



## 主な特長

- 高画質131万画素CCD(総画素数)と高性能レンズで、クラス最高レベルの画像が得られます。
- 枚数を気にせず撮影できる、リムーバブルメモリのスマートメディアを採用(パノラマ機能付)。
- ビデオ出力端子付で、画像のテレビ再生も楽しめます(NTSC方式)。<sup>\*</sup>
- 別売の機能付スマートメディアを使って合成画像も簡単に作れます。
- 別売の専用プリンタでダイレクトプリント可能。システムの拡張も楽しめます。
- 光学ファインダーに加え、2インチ高精細液晶モニタもファインダーとして使えます。
- デジタルテレノワイドモードを使用すると、2倍の拡大撮影を行うことができます。<sup>\*\*</sup>
- 電池駆動、軽量、コンパクトサイズで携帯性に優れています。

<sup>\*</sup> 海外では地域によりご利用になれません。

<sup>\*\*</sup> 標準画質モードでのみご使用いただけます。

◆ 説明文中の △ 注意は、特に気を付けてお読みください。

◆ ☞ はその他の留意事項を示しています。

◆ 本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

# デジタルカメラを使った楽しみ方

## 機能付スマートメディアを使えば

オリンパスのスマートメディア(カード)を使えば、通常の記録メディアとしてだけでなく、下記の機能もお楽しみいただけます。

- パノラマ合成機能  
標準カード(パノラマ合成機能付) (8MB=同梱 / 2・4MB=別売)とパソコン接続キットC-4KP (別売)のユーティリティソフトを使ってパノラマ合成画像作成



- 合成テンプレート機能  
テンプレートカードM-4T(4MB=別売)を使って合成画像作成



- カレンダー機能  
カレンダーカードM-4C(4MB=別売)を使ってカレンダー画像作成



- 手書きタイトル機能  
手書きタイトルカードM-4N(4MB=別売)を使ってタイトル入り画像作成

## 専用プリンタP-300 / P-150 (別売)に接続すると

- パソコンなしでも画像をダイレクトにプリントアウト
- 日付入り印刷も思いのまま
- 機能付スマートメディア(別売)で作った画像をプリントアウト
- 16分割シールペーパープリントも簡単
- 30コマインデックスプリントも可能
- 転写プリントで左右反転の印刷にも対応

## パソコンに接続すると

- パソコン接続キットC-4KP(別売)のユーティリティソフトを使ってデータを加工・保存、プリントアウトしたり、パノラマ合成画像の作成ができます。なお、お手持ちのC-3KPのユーティリティソフトでは一部機能制限があります。

## その他にも

- 通信アダプタT-100HS(別売)にモデムカードを組み合わせ、携帯電話から画像を伝送できます。
- テレビに接続して、大きい画面で画像を見ることができます。

## 目次

### 準備をしましょう

各部の名称 .....	12
ストラップ・カメラケースの使い方 /	
電池を入れます .....	14
家庭用電源の使い方 .....	15
スマートメディア(カード)を差し込みます /	
電源を入れます .....	16
カードの初期化 .....	17
電池残量をチェックします .....	18
撮影可能枚数をチェックします .....	19
日付のあわせかた .....	20

### 撮影しましょう

カメラに慣れましょう .....	22
写します .....	24
撮影距離 / フォーカスロック .....	27
オートフォーカスの苦手な被写体 .....	28
露出補正 .....	29
画質モードを選択します .....	30
フラッシュ撮影 .....	31
オート発光 /  赤目軽減発光 .....	32
 発光禁止 /  強制発光 .....	33
ピープ音の設定 /  セルフタイマー .....	34
ファンクションボタン /  連写モード .....	35
 マクロモード /	
デジタルテレ / ワイドモード .....	36
パノラマモード .....	37

## 液晶モニターで再生してみましょう

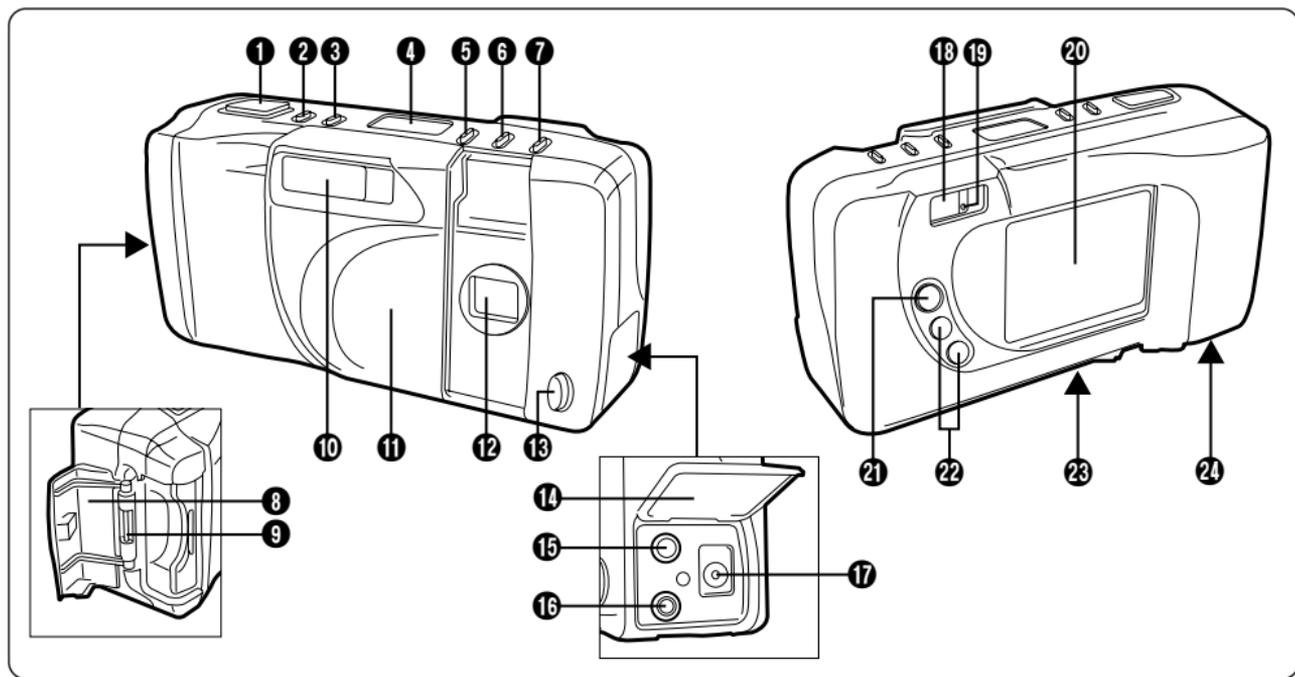
液晶モニターの電源を入れます .....	38
コマ再生/インデックスディスプレイモード .....	39
ファンクションボタン .....	40
自動再生モード/プロテクト .....	41
画像の消去 .....	42
テレビとの接続のしかた .....	44
印刷してみましょう	
プリンタとの接続のしかた .....	45
予約プリント .....	46
16分割シールペーパープリント .....	47
転写プリント/インデックスプリント .....	48

## 画像をとりこみましょう

パソコンの使用環境 .....	49
ユーティリティソフトウェアの主な機能 .....	50
パソコンとの接続のしかた .....	51
パソコンに接続すると .....	52
スマートメディアから直接とりこむ場合 .....	53
システムチャート .....	54
その他	
Q & A .....	55
修理に出す前にお確かめください .....	56
アフターサービスについて /	
液晶画面とバックライトについて .....	60
画像ファイルの互換性について .....	61
主な仕様 .....	62

# 準備をしましょう

## 各部の名称



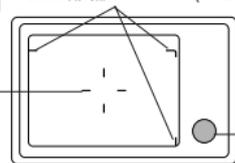
## カメラ本体

- ① シャッター(OK)ボタン.....P.23
- ② フラッシュモードボタン.....P.31
- ③ 消去モードボタン.....P.42
- ④ コントロールパネル.....P.13
- ⑤ セルフタイマー.....P.34  
/プロテクトボタン.....P.41
- ⑥ 画質モード切替ボタン.....P.30  
/インデックスディスプレイモードボタン.....P.39
- ⑦ ファンクションボタン.....P.35/40
- ⑧ カードカバー.....P.16
- ⑨ ストラップ取り付け部.....P.14
- ⑩ フラッシュ.....P.31
- ⑪ レンズバリア.....P.16
- ⑫ レンズ
- ⑬ セルフタイマーシグナル.....P.34
- ⑭ コネクターカバー
- ⑮ ビデオ出力端子.....P.44
- ⑯ データ入出力端子.....P.45/51
- ⑰ DC入力端子.....P.15
- ⑱ ファインダー.....P.13
- ⑲ 緑ランプ.....P.13
- ⑳ 液晶モニタ.....P.13
- ㉑ 液晶モニタ ON/OFFボタン.....P.26/38
- ㉒ コマ戻し(-)/コマ送り(+ )ボタン.....P.20/39/45
- ㉓ 三脚穴
- ㉔ 電池カバー開閉つまみ.....P.14

## ファインダー部

近距離補正マーク (P.27)

オートフォーカスマーク/  
逆光自動補正マーク  
(P.27/32)



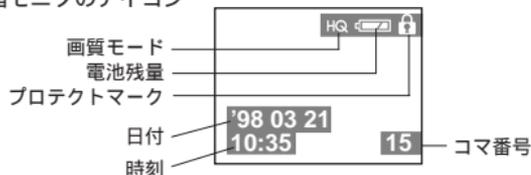
緑ランプ

## コントロールパネル・液晶モニタ部

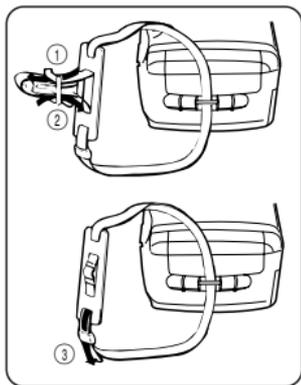
### ・コントロールパネルのアイコン



### ・液晶モニタのアイコン



## ストラップ・カメラケースの使い方



カメラにストラップを取り付けます。



ストラップをカメラケースに通します。

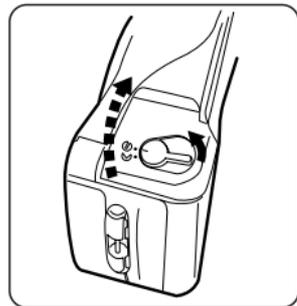
### ⚠ 注意

◆上記にしたがって正しい取り付けを行ってください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れて本体を落とした場合、損害等一切の責任は当社では負いかねますのでご了承ください。

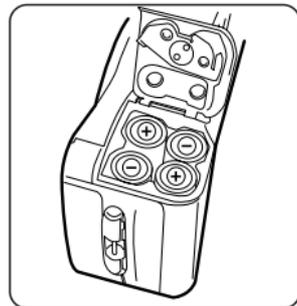
## 電池を入れます

電池は単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、またはニッカド電池4本を使用します。マンガン電池は使用できません。

○電池に関するご注意をお読みください。(P.6参照)



**1** 電池カバーの開閉つまみを  $\cup$  に合わせ、カバーを開けます。



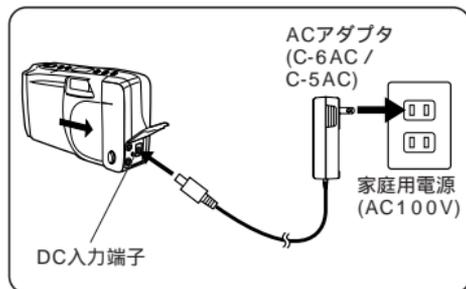
**2** 図のように電池の向きを正しく合わせて入れ、電池カバーを閉めます。



◆電池を入れる時は電源がオフになっていることを確認してください。

## 家庭用電源の使い方

別売の専用ACアダプタ(C-6AC / C-5AC)で、家庭用電源(AC100V)から電源を取ることができます。



- ◆ ACアダプタを長時間接続するとACアダプタ本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。

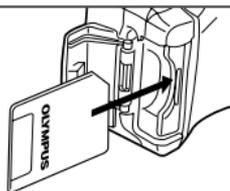
### ⚠ 警告

火災・感電・やけどのおそれがあります。

- ◆ 電源は必ずAC100Vをご使用ください。
- ◆ 専用ACアダプタC-6AC/C-5ACは、日本国内でのみ使用可能です。外国では使用しないでください。
- ◆ ACアダプタのプラグの差し込みが不完全な状態では使用しないでください。
- ◆ 濡れた手でACアダプタのプラグの抜き差しは絶対にしないでください。
- ◆ 万一ACアダプタやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が発生した場合、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。また、直ちに販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
- ◆ 専用のACアダプタ(EIAJ規格・極性統一型プラグ付)以外は絶対に使わないでください。カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた障害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ◆ ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタの本体を持って抜いてください。
- ◆ ACアダプタのコードを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったり、継ぎ足したりすることは絶対にやめてください。
- ◆ ACアダプタのコードに傷、断線、またはプラグに接触不良があったりした場合は、すぐにお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ ACアダプタを接続したり外したりする場合は、必ず本体の電源がOFFになっていることを確認してください。(カメラに電池が入っている場合も同様です。)
- ◆ 使用しないときは、必ずACアダプタをコンセントから外してください。

## スマートメディアを差し込みます

スマートメディアを  
差し込む



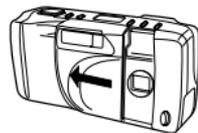
スマートメディア(以下カードといいます)を図示の方向に差し込みます。

- 機能付スマートメディア(別売)を使用する場合も同様に差し込みます。
- 市販の5Vカードは使用できません。当社カードまたは市販の3.3Vカードをご使用ください。
- 市販の3.3Vカードをご使用の場合、カメラでの初期化をおすすめします。

### ⚠ 注意

- ◆デジタルカメラ作動中には、絶対にカードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したり、電源プラグを抜いたりしないでください。カード内のデータが破壊されることがあります。
- ◆カードは精密機器です。無理な力や衝撃を与えないでください。

## 電源を入れます



レンズバリアをス  
ライドさせる

コントロール  
パネル



カード警告マーク

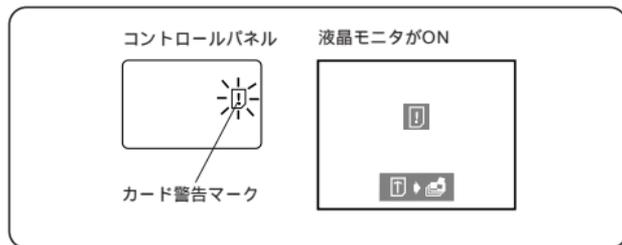
ファインダー



緑ランプ

カメラ前面のレンズバリアをスライドさせるだけで電源が入ります。電源を入れると、カメラが自動的にカードチェックを行います。カードに問題がある場合は「ピー」という音が鳴り、上記のカード警告マークが点滅します。カードが入っていない時/カード容量が足りない時/プロテクトされて書込不能の時  
コントロールパネルのカード警告マークとファインダー横の緑ランプが点滅します。

## カードの初期化



### 初期化とは

カード内のデータを使用機器で書き込みできるフォーマットに変えることです。

- オリンパスのカードは初期化済みです。
- オリンパス製カードのご使用をおすすめします。

### 初期化のしかた

初期化が必要なカードを入れた場合

- 1 コントロールパネルにカード警告マークが点灯し、液晶モニタがONになります。
- 2 消去モードボタンを押しながらフラッシュモードボタンを押すと、右上図のYES/NO画面になります。
- 自主的に初期化を行う場合は、カメラのバリアを閉じ、電源OFFの状態ですべてのボタンを押しながら液晶モニタON/OFFボタンを押すと、右上図のYES/NO画面になります。



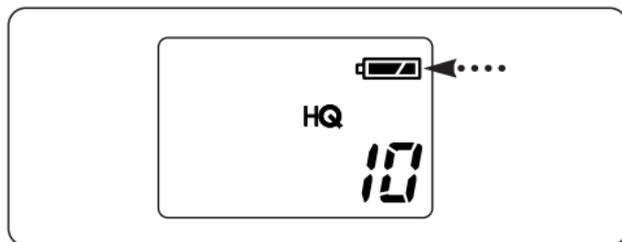
- 3 OK(シャッター)ボタンを押すと初期化が始まります。(カード警告マークが点滅します。) 消去モードボタンを押すとキャンセルされます。
- 4 初期化が終了するとカード警告マークが消灯し、ブルーバック(青画面)になります。



- ◆ 初期化すると既存のデータ(カメラでプロテクトをかけた画像も)は消滅します。使用済みカードを初期化する時には、大切なデータを消さない様にご確認ください。
- ◆ オリンパス製以外のカード及びパソコンで初期化あるいは使用したカードは、書き込み時間が長くなることがあります。このようなときは最適な初期化を行うカメラでの初期化をおすすめします。
- ◆ カードにライトプロテクトシールが貼ってある場合は、初期化を受け付けません。

## 電池残量をチェックします

カードチェックが終わると、コントロールパネルに電池残量、撮影可能枚数などが表示されます。

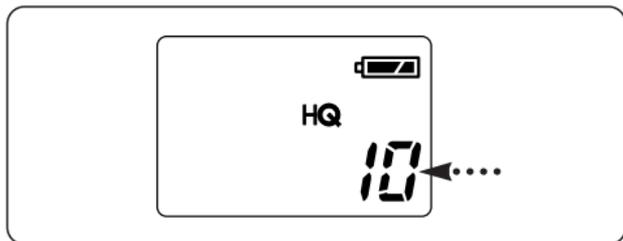


- ◆ 長期の旅行、大切な行事、寒冷地での撮影などには予備の電池をご用意になるか、充電できるニッケル水素電池(別売)のご使用をおすすめします。(P. 6参照)
- ◆ なにも操作をしないまま3分を経過すると、パワーセーブ機構が働き、電源は自動的に切れます。
- ◆ 再度電源を入れるにはバリアをいったん閉じてまた開けるか、またはシャッターボタンを半押ししてください。

電池残量の目安は次のように表示されます。

電池残量表示の状態	意味
 が点灯。 (自動的に消えます。)	電池の残量は十分です。 撮影できます。
 が点滅し、コントロールパネルの他の表示は通常通り点灯。	電池の残量が少なくなりました。新しい電池と交換してください。
 が点滅し (12秒後に消灯)、パネルの他の表示は消灯。	電池の残量がなくなりました。新しい電池と交換してください。

## 撮影可能枚数をチェックします



カメラの電源を入れるとコントロールパネルに撮影可能枚数が表示されます。

- 撮影可能枚数が0になると「ピー」という音が鳴り、緑ランプが点滅します。再度バリアを開く時も同じです。
- 撮影可能枚数は設定画質モードによって変わります。
- 画質モードの設定はP.30をご覧ください。
- 撮影対象によりデータ量が異なる為、撮影可能枚数よりも多く撮影できることがあります。

### 撮影可能枚数

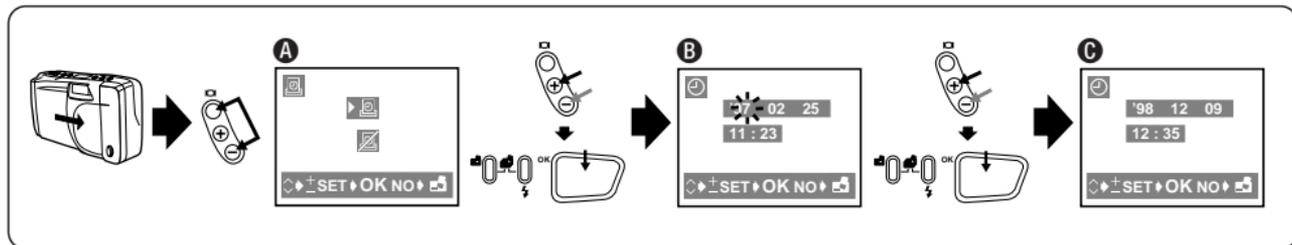
画質モード		スマートメディアの記憶容量		
		2MB	4MB	8MB
標準		30枚以上	60枚以上	122枚以上
高画質	HQ	9枚以上	18枚以上	36枚以上
	SHQ	4枚以上	9枚以上	18枚以上



◆ 撮影毎にカウンタが減らなかったり、1コマ消去しても増えない場合があります。

## 日付のあわせかた

### カメラ本体であわせる場合



レンズバリアを閉じた状態で操作します。

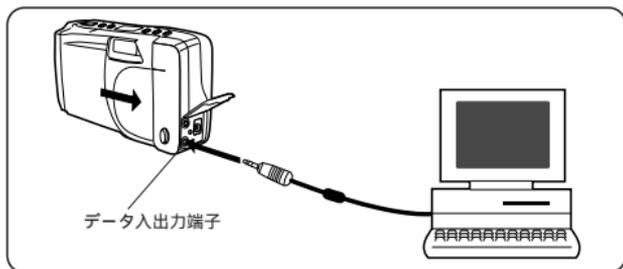
- 1 コマ戻し(-)ボタンを押しながら液晶モニタON/OFFボタンを押すと日付プリント選択画面になります。(上図 A)
  - 2 専用プリンタP-300/P-150でダイレクトプリントの際に日付も印刷するかをコマ戻し(-)/コマ送り(+))ボタンで選択し、OK(シャッター)ボタンを押すと日時設定画面になります。(上図 B)
- 消去モードボタンを押すと日付プリントの設定はされずに日時設定画面になります。
  - 液晶モニタON/OFFボタンを押すと設定されずに画面が消えます。

- 3 年から順に点滅する数字をコマ戻し(-)/コマ送り(+))ボタンで設定して、OK(シャッター)ボタンを押して行きます。最後に分まで設定し(上図 C))OK(シャッター)ボタンを押すと、日時設定が完了し画面が消えます。
- 途中で消去モードボタンまたは液晶モニタON/OFFボタンを押すと設定されずに画面が消えます。



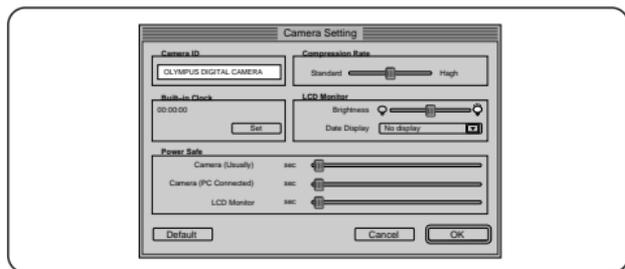
◆ 電池を抜いた状態で約1時間放置すると設定した日付は解除されます(当社試験条件による)。この場合は再度設定を行ってください。

## パソコンであわせる場合



別売のパソコン接続キットC-4KPに添付されているユーティリティソフトウェアを使用する場合

- 1 カメラをパソコンに接続します。(P.51参照)
- 2 ユーティリティソフトを立ち上げます。(P.50参照)
- 3 パソコン画面のタイトルバーの“カメラ”から“カメラ設定”を選ぶと、カメラ設定ウィンドウが表示されます。



- 4 カメラ設定ウィンドウの指示に従って、日付・時刻を設定します。



- ◆ 日付プリントする、しないにかかわらず、日時設定は必ず行ってください。
- ◆ 大切な撮影の前には、日付・時刻の確認をされることをおすすめします。